



2年学年だより

発行日：平成 30 年 10 月 31 日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 6

◆◇安心・安全な登下校を目指して◇◆

南高校附属中学校の生徒は、横浜市全域を学区としてさまざまな方面から通学しています。南高校へのアクセスは、最寄りの駅からバスを利用したり、交通量の多い道を歩いたり、閑静な住宅街を歩いたりしています。

附属中学生と南高約 1000 人が毎日安全に登下校できることが一番に求められると同時に、地域の方々の安全も求められます。附属中学校と南高校が地域の方々に信頼していただける学校に成長していくためには、附属中生一人ひとりの責任ある行動が欠かせません。交通ルールを守り、マナーよく登下校することは当然のことであり、さらに地域の方々への心遣いのある行動がとれることを期待しています。

中高職員がともに定期的に下校指導を行っています。ご家庭でもぜひ話題にしていきたいと思えます。

○駅までの道を歩く場合、歩道を広がらずに、大きなかばんは自分の体の前にして自分の横幅を広げない。すれ違う人に、自分から道を譲りましょう。

○バスを利用する場合、リュックを前に抱えて乗り、多くの人に乗れるようにステップの奥までつめる。バス停で附属中学生が多いときは、地域の方に順番を譲りましょう。

○上大岡方面の大久保町バス停付近で、以前たいへんいたましい事故が起きました。この事故を受けて、地域の方々も中高生の通行を見守ってくださっています。しかし、この付近は車の交通量と、通行する生徒の数と、狭い道幅とが見合っていない現実もあります。右の地図に示す『推奨ルート』をなるべく歩きましょう。



また、この『推奨ルート』は地域の方々も通勤・通学のために附属中学生の登下校とは逆の流れで、大勢通行していらっしゃいます。『推奨ルート』とはいえ、附属中学校専用道路ではありません。すれ違う方々も附属中生も安全に通行できるよう、気を配りましょう。

○上永谷方面では、住宅街の中の広い道を歩きましょう。勸永公園を横断する道は、通行する人が少なく、毎年不審者情報が学校に寄せられています。この勸永公園を横断する道は使わないでください。また、地域の方々も附属中生に向けても挨拶をしてくださっています。自分からも挨拶をしましょう。

○附属中学校では 10 月から下校時間が 30 分早くなりました（5：30 完全下校です）。日が暮れて早くなりましたので、生徒の皆さんはできるだけ明るく人通りの多い道を通りましょう。登下校中や塾帰りに犯罪被害にあう事案が発生しています。お子さんを犯罪被害から守るために、ご家庭でもよく話し合ってください。本校では、貸出し用防犯ブザーを用意しています。防犯ブザーを学校に持ってくるのを忘れて、下校時刻が予定より遅くなったりした場合など、必要なときには中学職員まで伝えてください。

行ってきました！イングリッシュキャンプ

10月17日（水）～19日（金）の3日間、静岡県御殿場市にある国立中央青少年の家へイングリッシュキャンプに行きました。『Let's grow with family ～160人の心を一つに～』をスローガンに掲げ、「何度でも English」を合言葉にできるだけ英語だけ使って過ごすことを目指しました。中学校に入って初めての宿泊行事であることや、ほぼオールイングリッシュへの不安を隠しながらの出発。しかし、イングリッシュアドベンチャースタッフの方々の熱烈的な歓迎を受け、不安は次第に挑戦する気持ちに変換されていきました。たくさんの挑戦と思い出を手にして戻ってきた6期生。6期生の元気いっぱい、感動いっぱいのメッセージをお届けします。



イングリッシュキャンプ実行委員長： [Redacted]

私たちイングリッシュキャンプ実行委員会は、とにかく仕事が多く、最後の最後まで大変で、慌ただしかったです。それでも三日間の内容をスムーズに進められたのは6期生みなさんのおかげです。

一日目の夜、私たちは明るくパチパチと燃える炎を囲んで、楽しくマシュマロを食べましたね。その時私は、みなさんが身ぶり手ぶりを交えて懸命に話を伝えようとしている姿を見て、とても嬉しかったです。目標である「何度でも English」「Everything is in the challenge」を叶えようとしていて、委員たちが思い描いていたインキャンになっている、と感じました。

準備こそ大変だったけれど、三日間はあっという間でした。私たちは、持っている力をフルに使って過ごしたインキャンで、来年行くカナダへの自信をつけられたと思います。クラスの仲はもちろん、6期生として学年の仲も深められたイングリッシュキャンプでした。6期生のみなさん、ありがとうございました。

イングリッシュキャンプ実行委員会

1 組 [Redacted]、 [Redacted] 2 組 [Redacted]、 [Redacted]
3 組 [Redacted]、 [Redacted] 4 組 [Redacted]、 [Redacted]

1組： ██████████ グループCMのとき、僕たちの班ではやることは決まったが、本当にこんなものでいいのかと悩んでいた。結局やるのだったら会場全体を盛り上げて終わらせようとなり、僕とたけるとでしめることにした。直前までシラけたらどうしようと思っていたが、笑ってくれたのでCMは成功した。僕はこの時、やる前にいくら悩んでも結果はわからないのだから、1回チャレンジしてみる事が大切と思えるようになった。

1組： ██████████ いつもとは全く違う環境で活動する中で、グループだけでなくだんだんと学年全員とつながっているような感覚になった。言語が違うから不思議と少し素直になれた気がする。なんでもまず挑戦して、失敗しても笑って許しあって、解決策をみんなで考えて、ついさっきまで越えられなかった壁をみんなで蹴り破る。そんなサイクルが自然とできていてすごく楽しかった。3日間の濃さは今までの人生でもなかなかないと思った。

2組： ██████████ インキャンに行くまえは、あまり英語に自信が持てなくて、自分から話したり、チャレンジしたりする回数が少なく、インキャンに行くことに対しても、ワクワク感よりも不安の方が大きかった。しかし、行って見て、メンバーもおもしろくて、先生もフレンドリーで、気づいたら英語で話していた。インキャンが終わって見て、前よりも英語で積極的に話せるようになった気がする。今後も、自分からやる積極的な姿勢を崩さないで頑張りたい。

2組： ██████████ 僕は諦めやすい性格だったのですが、イラストレーションエクスペリエーションの絵を説明してペアに書いてもらうという活動で、最初伝わらなかったことを根気強く説明すると、伝えることができた。インキャンでは、挑戦し続けることができ、そしてその大切さを学んだ。

3組： ██████████ イングリッシュキャンプを振り返ってまず最初に思い浮かべることは“楽しかった”ということだ。行く前は「寒くて体調崩しそう」とか「英語が出てこないかも」「人とコミュニケーションとの苦手」などなど不安なことしか考えていなかったが、行ってみると「こんなに楽しいのか」と強く感じた。1日目のマシュマロ焼きのときや、2日目のキャンドルファイヤーは自分にとって非常に良い思い出となった。非日常的な生活はその楽しさや大切さを教えてくれたと思う。今回のイングリッシュキャンプをどうカナダに活かすのかが point だ。

3組： ██████████ イングリッシュキャンプで英語をたくさん使ったことで、英語は大切だと改めて感じた。英語は世界中どこへ行っても伝わりやすい言語であるため、たくさんの人とつながり合えるし、グローバル社会に対応できると思う。今はまだあまり話せないが、これからどんどん勉強して上達していきたい。

4組： ██████████ 成長したと思うことは、団結力で、班の人は大半関わったことのない人だったが、その人たちともアクティビティを通して、協力しつつ関わる事ができたと思う。昼食時間に行ったゲームで、インストラクターさんには全く伝わらず、ジェスチャーを入れて理解してもらい、正しい発音も教えてもらいましたが、英語の発音の難しさを感じました。イングリッシュキャンプの1番の思い出は最終日にもう1日ほしいと思ったことです。

4組： ██████████ インストラクターは3日目のお昼に自分から先生に声をかけて、自分のことを英語で話したときが一番頑張った瞬間だと思う。自分の英語が先生に伝わり、私の思い出について感想を言ってくれたときはとてもうれしく、「英語って楽しい」と初めて強く思った。様々なアクティビティやみんなとの宿泊は良い経験となり、新しくクラス・学年の良さや短所を発見することができた。生かせることはどんどん生かしていきたい。

BOSS子のつぶやき

最高の「非日常」を終えて、「日常」が戻ってきました。二つの大切な時間が、違った色の輝きで、6期生の心の成長につながりますように！！…な～んて思ったイングリッシュキャンプでした。楽しかったなあ。

《結団式》
いよいよ出発！
期待半分、不安半分。



《開会式》
イングリッシュアドベンチャー
スタッフの方々と初顔合わせ！



《ローロープス》
ロープに乗って歩いて。
メンバーで協力あるのみです。



《イラストレーション イマジネーション》
言葉で伝えて、想像して。
どんな絵が描けたかな？



《オリエンタリング》
コンパスを使って宝を探そう！



《チームビルディング》
チームで力を合わせて課題解決！



《キャンドルファイヤー①》
ジャンケン列車で6期生が一つに
つながりました。



《キャンドルファイヤー②》
6期生全員がキャンドルで
描いた『6th』



《パイレーツ》
学年アクティビティ！
大いに走り回りました



《宿舎にて》
何のお話ししているの？



《閉会式》
スタッフの方々とお別れ。
スタッフのBOSSマイクさん！



《解団式》
実行委員会のみなさん、6期生の
みなさん本当にお疲れさまでした。

